

## 論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 ( 学 術 )	氏名	Tassanee HOMKLIN
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論 文 題 目			
Training Effectiveness of Skill Certification System: The Case of Automotive Industry in Thailand			
論文審査担当者			
主 査	広島大学大学院国際協力研究科	准教授	高橋 与志 印
審査委員	広島大学大学院国際協力研究科	教授	金子 慎治
審査委員	広島大学大学院国際協力研究科	准教授	後藤 大策
審査委員	広島大学大学院国際協力研究科	教授	市橋 勝
審査委員	広島修道大学商学部	教授	金原 達夫
〔論文審査の要旨〕			
<p>本論文は、タイ自動車産業における技能検定制度を事例とした、検定試験を含む広義の研修効果についての研究である。当該分野で広く用いられてきたカークパトリックの4段階研修評価モデルを基本的な分析枠組みとし、研修を受講したうえで検定試験に合格した者を対象に質問票調査を実施し、その結果に基づいて実証分析を行っている。</p> <p>論文は全8章からなる。章別構成は以下の通りである。第1章の序論に続いて、第2章では4段階モデルを他の主要な研修評価モデルと比較検討した。第3章の文献レビューでは、4段階モデルの実証研究を用いたメタ分析及び後述の調整変数となる個人・仕事環境特性に関する記述的レビューを行った。第4章ではタイ自動車産業、事例とする同産業の技能検定制度及び研究の方法論について論じた。第5章から第7章は、前述の質問票調査結果に基づく実証研究である。第5章では、構造方程式モデリングを用いて、反応、学習、行動・態度、結果の間に段階的な因果関係が認められることを示した。第6章では、前章で論じた段階的因果関係に対して、自己効力感や社会的・組織的支援など個人・仕事環境特性が調整効果を持つことをパス解析によって分析した。第7章では、前章で分析した社会的・組織的支援を上司、同僚、組織の支援の3種類に分け、学習と行動・態度の関係に対するそれらの調整効果を、階層的重回帰分析によって明らかにした。その結果、同僚の支援のみが効果を持つことが分かった。第8章は結論である。</p> <p>当該分野における新たな貢献としては、4段階全てを通じた因果関係の特定や調整変数の導入によって、既存の研究と比較してより包括的かつ精緻化した枠組みに基づく実証分析を行った点が評価できる。</p> <p>また本論文の主な内容の一部は、査読付き論文2篇として刊行済みである。他の主要な分析結果についても、査読付き論文としての投稿準備を進めている。以上の審査の結果、本論文の著者は博士(学術)の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。</p>			